

(様式 3)

合流式下水道緊急改善事業 事業評価シート

評価実施年月：平成 28 年 2 月

1. 対象事業	所沢市合流式下水道緊急改善事業			
2. 実施主体名称	所沢市			
3. 計画期間	平成 17 年度～平成 25 年度			
4. 対象事業の進捗状況	平成 16 年度策定、平成 21,24 年度変更の計画に基づき、以下の対策を実施した。 ① 汚濁負荷量の削減 ② 公衆衛生上の安全確保 ・越流堰の堰上げ（雨水吐室 7 箇所（実績）／7 箇所（計画）） ・遮集管きよの設置（1 箇所（実績）／1 箇所（計画）） ・雨水貯留施設の設置（4 箇所（実績）／4 箇所（計画）） ③ きょう雑物の削減 ・きょう雑物除去施設の設置（雨水吐室 22 箇所（実績）／22 箇所（計画））			
5. 目標の達成状況と達成の見通し	【改善目標】 ① 汚濁負荷量の削減（分流式下水道並みの汚濁負荷） →BOD 放流負荷：316.2 t/年 ② 公衆衛生上の安全確保（未処理放流回数の半減） →未処理放流回数：13 回/年 ③ きょう雑物の削減（きょう雑物の流出防止） →雨水吐室 22 箇所にスクリーン等を設置			
【目標に対する達成状況】				
改善目標	評価指標	対策前	事後評価 (平成 27 年度)	改善目標
緊急改善事業	合流式下水道改善率	0%	100%	100%
①汚濁負荷量の削減	BOD 放流負荷量	329.4 t/年	316.0 t/年	316.2 t/年
②公衆衛生上の安全確保	年間越流回数	27 回/年	10 回/年	13 回/年
③きょう雑物の削減	スクリーン等設置箇所数	0 箇所	22 箇所	22 箇所
【改善期限までの目標達成の見通し】 当面の目標（汚濁負荷量の削減、公衆衛生上の安全確保、きょう雑物の削減）に関する全ての対策が完了している。				
6. 対象事業の整備効果の発現状況等	下水道法施行令第 6 条第 2 項等に基づく吐口からの放流水質の調査結果 BOD：20.7mg/L（平成 26 年度測定）			
7. 事業の効率化に関する取り組み状況	下水道技術開発プロジェクト（SPIRIT21）の開発技術であるスクリーン及び維持管理が容易で低コストが期待できる渦流式水面制御装置を採用した。			
8. 今後の方針	本市では、合流式下水道緊急改善計画で位置付けた改善対策の整備が全て完了したことから、当面の目標は達成された状況にある。今後は、整備した施設の適正な維持管理に努め、汚濁負荷量等の推移や新技術の動向などに注視し、必要に応じて、更なる改善に努める。			